長島ダムの魅力を広く周知するために

4/22

長島ダム PR 大使の任命式が行われました

左から、山下光貴さん、川口管理所長、芦沢哲哉さん

広く全国に、長島ダムの実態・目的・魅力等について知ってもらうことを目的に、「長島ダムPR大使」の任命式が長島ダム管理所で執り行われました。

任命を受けたのは、芦沢哲哉（あしざわてつや）さんと山下光貴（やましたこうき）さん。

長島ダム管理所長の川口一彦（かわぐちかずひこ）さんは「お二人はこれまでも接岨湖などでさまざまな活動をされてきた。近年、カヌーやSUPが盛り上がっているので、今後も魅力の発信をしていただきたい」と話しました。これを受け、長島ダムPR大使のお二人は、「今後も、旅行会社との連携によるツアー客の受け入れや、ダム周辺の散策コースの開拓など、お客さんとのコミュニケーションを大切に活動していきたい」と話しました。

エコティ日記

町の自然資源を活かした地域観光事業に取り組む一般社団法人エコティかわね。今回はヤマセミのプロジェクトに向けた想いの紹介です。

南アルプスユネスコエコパーク 10周年に向けて（2）

魚を捕らえたヤマセミ

大井川上流部の様子

川根本町の鳥、「ヤマセミ」に焦点を当てたプロジェクトが始動しました。

私たち「エコティかわね」は、平成28年に発足以来、設立９年目を迎えます。普段は町外・町内のお客様向けにカヤック体験、トレッキング、杉玉などのモノづくり、散策ガイドなど、川根本町の自然・文化を生かしたプログラムを提供しています。また、ガイドの育成を行ったり、学校関係・町内在住者に向けた出前講座や、フィールドワークの企画・運営を行っています。

今回は南アルプスユネスコエコパーク10周年という節目でもあり、町民全体で何か出来ないか、スタッフ間で何度も話し合いを重ねました。そこで、私たちに最も身近な大井川をもう一度見つめなおし、生態系の上位にいる「ヤマセミ」を足がかりに、大井川の自然と生き物を調査し、現状を知ることから始めたいと考え、「ヤマセミ生息状況一斉調査」を企画しました。

調査にお申込みいただいた皆さん、当日はよろしくお願い致します。調査に参加できない方もお時間のあるときにぜひ、レジャーシートやおやつを持って、河原でゆっくり過ごす時間を作ってみたらいかがでしょう。

11月ごろに、今回の調査の報告会も予定していますので、どうぞお楽しみに！

ECO-T KAWANE
（一社）エコティかわね
川根本町桑野山424-6
☎0547（58）7000
FAX0547（58）7001
Eメール：ecotkawane@gmail.com

子どもたちの門出を祝福

3/15

小学校・中学校の卒業生へ記念品が贈呈されました

ケーブルテクニカ株式会社は、地域貢献の事業として、毎年、町立学校の卒業生全員に記念品を贈呈しています。

本年も同社代表取締役社長の黒田貴之（くろだたかゆき）さんが来庁し、町内の校長先生に卒業生全員分の記念品を贈呈しました。

中学校の卒業生には「写真立て」を、小学校の卒業生には「マグボトル」をいただき、それぞれの学校の卒業式や離任式の際に、担任の先生を通じて卒業生に手渡されました。

受け取った卒業生たちは、新しい生活の様々な場面で活用できる記念品を受け取り、大変喜んでいました。

◀記念品を受け取る山下富士夫校長（左）と黒田貴之社長（右）

記念品を受け取る石川泰宏校長（左）と黒田貴之社長（右）▶

地域の安全を守るために

4/7

令和6年度川根本町消防団辞令交付式を挙行

辞令を受け取る新入団員代表の原田大輔（はらだだいすけ）さん

「令和６年度川根本町消防団辞令交付式」と「新入団員教養訓練」が、川根本町健康増進施設で執り行われました。

全分団から約80名が参加し、今年度は新たに８名が入団しました。新しい活動服に身を包んだ新入団員は、緊張した様子で辞令を受け取りました。

その後、新入団員を代表して、本部員の深澤宙希（ふかざわひろき）さんが「誠実且つ公平に、何人も恐れず、良心に従って忠実に消防の業務を遂行します」と力強く決意を述べました。式典終了後に行われた新入団員教養訓練では、町消防団の本部役員から、分団の規律や消防活動における所作などを教わりました。

災害時の情報収集活動を円滑に

4/22

無人航空機による活動協力に関する協定の締結を交わしました

町は、藤枝市のNPO法人「無人航空機（ドローン）活動支援協会」と、「災害時における無人航空機による活動協力に関する協定を締結しました。

協定内容には、町内の被害状況等の把握のほか、初動情報の収集活動などが盛り込まれています。また、同法人が所有するドローンには、録画やスピーカー機能も備わっており、避難を呼びかける放送をすることも可能となっています。

同法人の中村佳晴（なかむらよしはる）理事長は「今後ドローンに関する教育なども視野に入れ活動していきたい」と話し、町長は「ドローンを使った活動支援について、今後もご協力お願いします」とあいさつしました。

薗田町長（左）と中村佳晴理事長（右）